

長野県オリジナル品種

べに

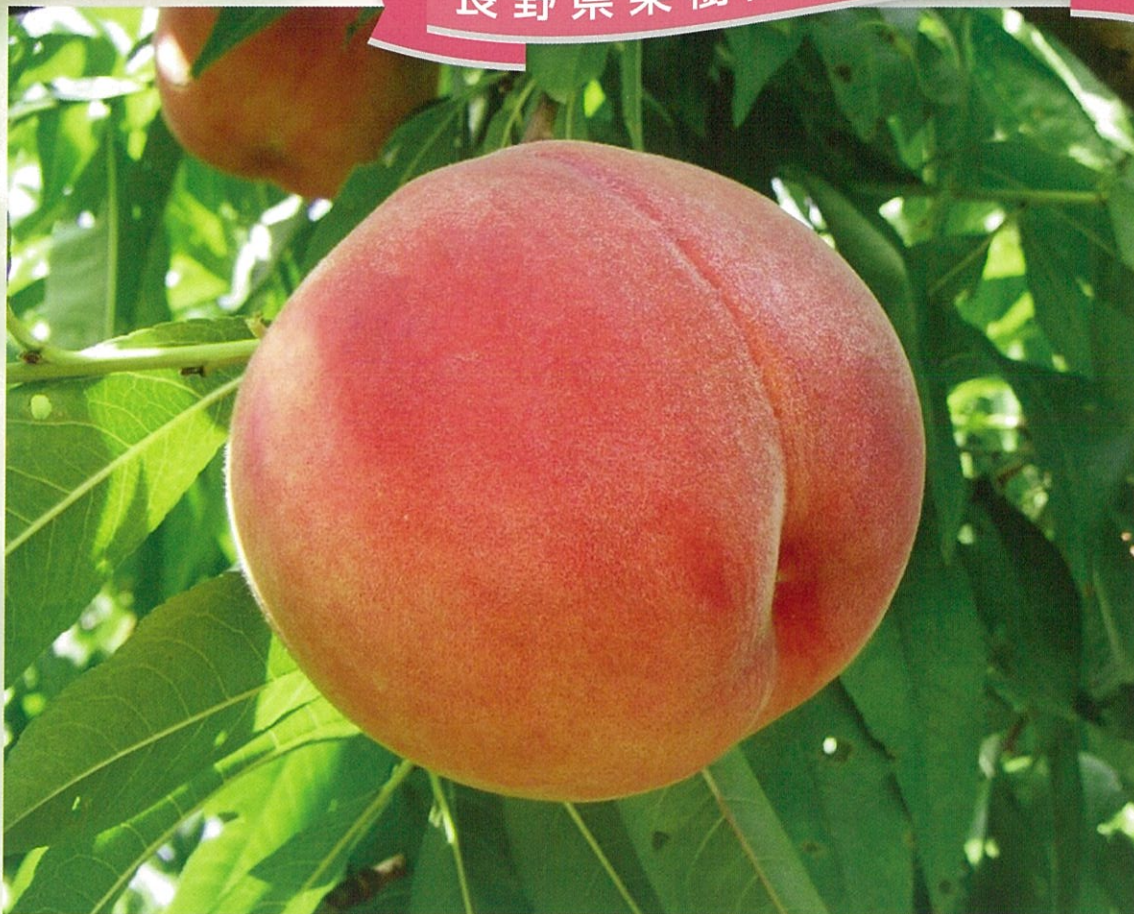
ばん

か

大玉で外観の
優れた晩生品種

紅晩夏

長野県果樹試験場育成品種



来歴

「紅晩夏」は、長野県果樹試験場が平成4年に「紅錦香」に「フレーバートップ」を交雑して得られた実生から選抜、育成した品種です。平成20年3月18日に品種登録されました。(登録番号第16785号)

生態特性

発芽期：3月下旬～4月上旬。「川中島白桃」、「白鳳」とほぼ同じかやや早い。

開花期：4月下旬～5月上旬。「川中島白桃」、「白鳳」とほぼ同じかやや早い。

成熟期：9月上中旬。「川中島白桃」より10日程度遅い。

成熟日数：満開後131～140日

苗木のご注文は、長野県果樹種苗協会員業者・農業協同組合へお申し込みください。

果実特性

果実の形 扁円形

果実の大きさ 400g 前後。500g を超える果実もある。

果皮 着色の程度はかなり多い。果面障害はほとんどなく外観良。

果肉 果肉色は白色。果肉内の紅着色は少ない。核周囲の紅着色は中程度。
肉質は溶質で、やや粗いが軟化するとあまり気にならなくなる。

糖度 12%前後

酸度 pH4.5 前後。やや酸味を感じる。

核 核と果肉の粘離は粘核

栽培特性

樹体 樹姿はやや直立する。樹勢はやや強い。花粉はない。

生理障害 異常花、双胚果及び核割れの発生は少ない。

耐病虫性 主要品種と同程度。主要な病害虫については十分な防除対策が必要である。

果面保護の有無 無袋栽培が可能。

受粉樹 「白鳳」、「あかつき」、「愛知白桃」が使用できる。他の花粉を有する品種でも可能であると推測される。

栽培上の留意点

- ・花粉がないため受粉樹の混植、人工受粉などにより結実を確保をする。
- ・摘蕾は、人工受粉を前提とした場合に実施できる。
- ・着色が良いので収穫にあたっては早採りを避け、成熟日数、硬度、果実品質などの総合判断により適期収穫を行う。
- ・病害虫防除はモモ主要品種と同様に行う。

問い合わせ先

長野県園芸作物生産振興協議会 うまいくだもの推進部会（長野県庁農政部園芸畜産課内）
電話：026-235-7227 FAX：026-235-7481 E-mail：enchiku@pref.nagano.jp
長野県果樹試験場 電話：026-246-2411（代表）